

広島市の大規模土砂災害について
バックビルディング現象による局地的豪雨が影響
 ～広島県内は今夜いっぱい、九州北部は明日午前中まで局地的豪雨・雷に注意～

8月20日未明、広島市内での局地的豪雨によって安佐南、安佐北両区で土砂災害が発生しました。今回、土砂災害をもたらした豪雨は同じ場所で次々と積乱雲が発生する『バックビルディング現象』が影響したと考えられます。この後、広島県内は今夜いっぱいまで、九州北部では明日午前中まで局地的な豪雨や雷に警戒が必要です。これまでの雨で地盤が緩くなっているため、引き続き土砂崩れにも注意してください。

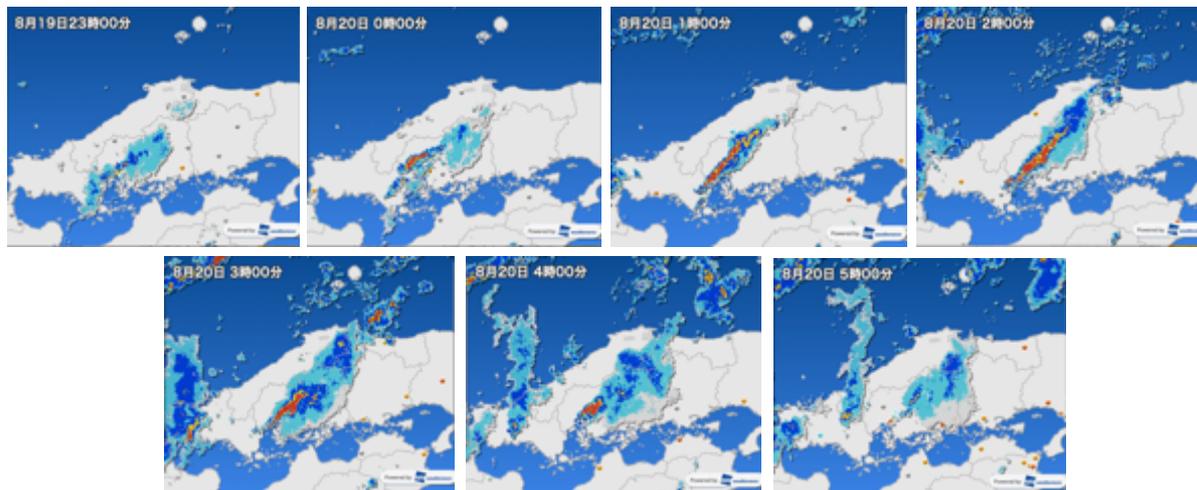
◆ 広島市に局地的豪雨をもたらせたバックビルディング現象について

バックビルディング現象とは、ある場所で積乱雲が発生し続け、上空の風に流されて積乱雲が移動し別の場所で雨を降らせる現象です。その際、積乱雲が線状に並び、同じ場所で強い雨や雷をもたらします。今回、豊後水道を通過して日本海側に停滞する前線に向かって広島県と山口県の県境に流れ込んだ湿った南風が、丘陵部にぶつかり上昇気流となって積乱雲を発生させました。一方、上空 1500m 付近では南西風が吹いており、この南風とぶつかり県境付近で発生した積乱雲をさらに発達させながら北東方向へ運んだため、風下側の広島市北部で長時間にわたり局地的豪雨となりました。また、この時の積乱雲は雲頂高度 15000m 弱まで発達していることがウェザーニューズ独自の「WITH レーダー」によって確認されました。



◆ 19日から20日にかけての雨雲の様子

20日午前1時ごろから雨雲がライン上に並び始め、同午前5時ごろには解消されています。このことからバックビルディング現象は20日午前1時から同午前4時ごろまで続いたと考えられます。



◆ 広島市内から寄せられた減災レポート

広島市内から寄せられた被害報告は 19 日はほぼ南部からでしたが、20 日は北部からの報告が増えたことがわかります。

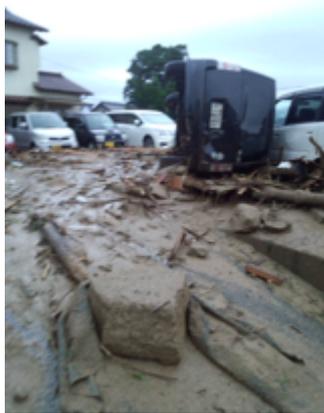


◆ ウェザーレポートによる当時の様子

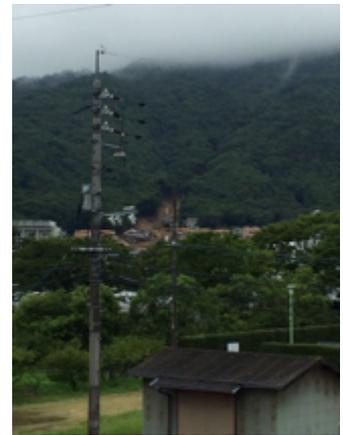
土砂災害の様子とともに、前日の 19 日には雷に関するレポートも多数寄せられました。



8/20 06:43
場所：広島県広島市安佐北区
「山から水が流れ出て通行できません。他、54 号線も土が流れ出てスリップしやすくなっています。山沿いの団地は孤立しています。」



8/20 07:00
場所：広島県広島市安佐南区
「家は流され違う住宅の人が生き埋めで救助を待ってます。下の道が冠水していて車はいれないので、消防車も上られません。」



8/20 07:11
場所：広島県広島市安佐南区
「山が崩れてる」



8/19 20:23
場所：広島県広島市東区
「また激しく降り出しました。雷がすごい。怖いよ〜!!」



8/19 20:45
場所：広島県広島市南区字品
「雷が光った瞬間を写真に撮りました。まるでお昼のような明るさです。今も容赦なく雷鳴が聞こえます。外にいらっしゃる方は身の安全を第一に行動してください!」



8/19 20:54
場所：広島県安芸郡熊野町
「近くの山が雷が鳴って光って涼しい風が吹いています。」